

過去・現在そして未来へ!

12人の議員にアンケート

- ①これまでの議員活動で一番印象深かったこと
- ②鳩山町 これからの最も重要な課題

松浪 健一郎

ふるさと納税をしっかりと

- ①境町に視察に行ったこと。町長が違くと、こんなに町が活性化するのか。鳩山町にないもの全てがそこにあり、ふるさと納税を活用して財政面もクリアしていました。
- ②財政状況は危機的。箱物に掛かる借金と毎年の経費が財政面を圧迫し続ける。行政サービスの低下は避けられない。境町のように、ふるさと納税に取り組み、取られた税金を取り返す。倍返し?(笑)

石井 徹

一般財源の確保策を

- ①昨年の議員視察研修で、訪問した茨城県の境町の先進的な取り組みには、驚きだけでした。鳩山町でも何とかしなければの思いを抱きました。
- ②財政健全化の中でも一般財源の確保策です。企業誘致、生産年齢層の移住促進、ふるさと納税、公の施設の利活用、公有財産の処分など、一朝一夕にはできないのでスピーディに取り組むことが最重要課題。



関根 清隆

意欲的に知恵を出し合って

- ②課題としては、①財政の悪化でお金がない、②高齢化で人口は自然減少、③企業誘致できない、④空き家問題、⑤行政の弱体化(職員削減・人材・起業家精神不足)、等々。結局、課題の根源は『行政の取り組み方次第』ではないか。将来のために、町職員と議員は意識改革に取り組み、意欲的に知恵を出し合って、課題を解決する道を切り開かなければならない。

目を見張る境町の財源開拓

補助金の獲得 約8億146万円 (平成30年度)

平成26年度→平成30年度
5年間で
総額約 **25.9** 億円の補助金を獲得

太陽光発電事業 約2,033万円 (平成30年度)

約1,800~1,900万/年の収入を20年分確保できる見通し (平成28年度より全施設稼働)

ふるさと納税 約60億8,253万円 (平成30年度)

寄付額全国 **8** 位

4年連続県内 **1** 位 (平成27~30年度)

2年連続関東 **1** 位 (平成29~30年度)

企業版ふるさと納税 3億490万円 (平成30年度)

平成28・29年度合計寄付額
市町村では **1** 位
全自治体では **2** 位

例えば **1** 新しい財源の開拓

野田 小百合

自然と文化をいかして

- ①昨年12月に太陽光発電施設設置要綱にかかる請願が提出され、採択されました。本年2月には請願の趣旨を盛り込み、要綱が改正されました。住民が声をあげれば、町は変わります。現要綱では不十分ですから、さらに一緒に考えていきましょう。
- ②鳩山町の魅力である心癒やされる自然と文化を守り、まちづくりをすすめること。

小川 唯一

攻めの施策を町民と共に

- ①先進地視察研修により鳩山町の進んでいる所、遅れている所が確認できました。
- ②財源確保策・人口減少解消法として、産業のクラスター化を計り、活性化を考えていくことが必要。特に、従来のような、待ちの企業誘致策ではなく、攻めの施策を町民と考える。町の資源を最大限に活かし、鳩山町らしい町づくりをすること。

森 利夫

企業誘致を

- ①平成25年1月から7月に執行された入札は、最低制限価格と差が殆どなく、端数のない価格で落札されました。小中学校プール改修工事費(4校平均請負額約1億3000万円)はプラス5~10万円。中央公民館耐震等工事、中学校体育館改修工事(いずれも請負金額9000万円)はプラス10万円と20万円。
- ②町の財政が最重要課題です。歳入が増える企業誘致等を進めるべきです。

さらに議会の責務を果たせる議会に！！

議長 石井計次

昭和57年に議会だより第1号が発刊され、37年が経過し、この度150号となりました。

私は議員の政策立案力向上のための勉強会発足を提案し、取り組んでいます。

議員1人1人の更なる資質の向上と共に、議会として二代表制の責務を担ってまいります。

皆様のご協力とご意見を賜りますようお願い申し上げます。



日坂 和久 デマンド運行の充実を

- ① 鳩山町の懸案のひとつは、交通の不便さの解消です。平成21年度から実証運行が開始されたデマンドタクシーは、今では町民の皆さんに定着した公共交通になっています。デマンドタクシー運行のための協議会に参加させていただき、実現に至ったことです。
- ② 町外、土日運行の要望が寄せられています。課題は把握できていますので、早期解消・実現を求めます。

石井 計次 自主財源の確保を

- ① 令和2年3月議会では、新年度予算案の採決は賛成6、反対5と過去記憶に無い拮抗した結果でした。反対理由は多額の起債（借金）です。賛成議員にあっても新年度「全ての町事業を停止できない」まさに苦渋の選択の場面もありました。
- ② 発展的かつ持続可能なまちづくりのため、企業誘致の推進等、自主財源の確保策が喫緊の課題と考えます。

小鷹 房義 少子高齢化対策を

- ① 越生町、ときがわ町は2町での研修を行っていましたが、鳩山町も参加して、3町合同の議員研修会が発足しました。
- ② 現在、少子高齢化に向けて、どのような政策を投じ、進めていくのか。またその財源の確保をどうするか。農家への支援が重要な時。



大賀 広史 健全な財政運営を

- ① 「どうする鳩山町議会！？活性化協議会」を立ち上げ、議員が歩いて聞いた町民アンケート及び議会報告会の開催等を実施。議員定数の削減を実現、無投票にならず、結果を出せたこと。
- ② 補助金ありきでハコモノ整備を進め、財政が厳しくなるばかり。町民1人当たりが背負う借金は48万円と、5年間で10万円以上の増加。借金先送りの財政運営にモノ申す！



中山 明美 防災・減災対策を

- ① 東日本大震災の当日、今までに経験のない揺れに驚き、近隣の無事を確認し、役場に向かいました。津波の映像に愕然とし、祈る思いで見つめていました。
- ② 台風、地震。いつ、どのような災害があるか、わかりません。防災・減災対策が重要です。「生命を守る」普段の準備・取り組みも重要と思っています。

根岸 富一郎 議会が町行政をただす

- ① 「議会改革」で「どうしたら議会と住民が身近になるか」等、他の議員と協力し、やってきました。
- ② 「議会がどうしたら町行政をただしていけるか」が課題です。私も「住民にとって議会とは何か」「町行政はどう住民の心をとらえているか」「住民の要求は何か」「どうすれば町が住みよくなるか」など、「党の議員」を増やすことと共に頑張ります。